

審議会等の会議結果報告

1 会議名	平成30年度第4回津市入札等監視委員会
2 開催日時	平成31年2月14日(木) 午後2時から午後3時まで
3 開催場所	津市役所本庁舎 4階庁議室
4 出席した者の氏名	(津市入札等監視委員会委員) 西川源誌、伊藤庄吉、岡島賢治、前川準一 (事務局) 副市長 盆野明弘 総務部長 荒木忠徳 総務部次長 奥田寛次 調達契約担当参事(兼)公共工事総合評価担当参事・調達契約課長 家城 覚 調達契約課工事契約担当副主幹 岡本慎哉 調達契約課主事補 山添泰希 住宅施策担当副参事(兼)市営住宅維持担当副参事・調達契約課設計審査担当副参事 橋本勝人 下水道建設課維持担当副参事 福田早純
5 内容	(1) 入札・契約に関する報告について ア 入札及び契約手続の運用状況 イ 指名停止措置等の運用状況 (2) 入札等監視業務について 入札・契約抽出事案の審議 (3) その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	1人
8 担当	総務部調達契約課工事契約担当 電話番号 059-229-3122 E-mail 229-3121@city.tsu.lg.jp

議事の内容 別紙のとおり

(1) 入札・契約に関する報告について

ア 入札及び契約手続の運用状況

Q 入札中止、不調となった案件が10件あり、他の四半期と比べると今回は非常に多い印象を受けますが、いかがですか。

A 委員御指摘のとおり、他の四半期に比べると不調もそうですが、入札者が無く入札中止となった案件も多い傾向でした。年度末ということで、比較的少額の案件もあり、工事内容の魅力に乏しかったものとも推測されると思います。また、配置技術者の専任配置を求めていますので、技術者の事情や発注時期も影響している可能性も考えられます。

Q 他の年度の同時期と比べるとどうでしょうか。また、何か原因があるのでしょうか。

A 他の年度と比べましても、本年度は特に不調となった案件が多いように思われます。また、不調となった案件が多くなった原因については、ある程度最低制限価格を推測して応札される傾向もある中で、結果的に全者が最低制限価格未満により失格となる事例が多くありましたので、そのあたりも原因となっているのではないかと考えております。

Q 最低制限価格未満により失格となる事例が多いということは、以前から指摘していますように、算出された最低制限価格が高い可能性もあるのではないのでしょうか。つまり、応札者は最低制限価格より安価で施工できると考えており、現実の実勢価格との差があるのではないのでしょうか。最低制限価格制度上失格とすることはやむを得ないとはいえ、課題があると考えますがいかがですか。

A 私どもとしましては、予定価格の範囲内において、適正な価格で応札していただきたいと考えておまして、決して最低制限価格を目途に応札していただくという意図はございません。しかしながら、事業者としましては受注するためには、過去の入札結果等を参考に応札されていることも推測される中で、最低制限価格未満により失格となる事例も多く見受けられるものと思います。最低制限価格の制度上、仕方無い部分ではありますが、何らかの制度上の検討は、引き続き必要であると考えております。

A 先ほどのご質問について補足を加えてご説明しますと、不調、入札中止が例年に比べて多かったのは、傾向としましては、土木工事で不調が多かったわけではなく、入札参加者が少なかった案件や実績要件を求めて発注した案件について不調となった傾向がございました。入札参加者が少ないということは、それだけ最低制限価格未満となる可能性が高くなることも考えられます。

今年については、工事の性質により不調が多くなったのではないかと推測しております。

Q 入札参加者が少なく最低制限価格未満による失格により不調となる案件について、最低制限価格と応札額の差はどの程度ありますか。

A 応札金額は最低制限価格と比べますと数%の範囲内で推移している状況であり、最低制限価格を目途に応札されていることが推測されます。

Q くじ引きによる決定がいつもより多い印象を受けますが、特徴はありますか。

A 建設工事と比較して積算体系が比較的複雑でない土木工事につきましては、最低制限価格がある程度類推しやすい傾向もあり、結果的に最低制限価格と同額でのくじ引きによる決定となる傾向が見受けられます。

Q 土木一式工事の中においても、特に格付区分がDの工事のほとんどがくじ引きにより決定していますが、理由はありますか。

A 格付区分がDの工事につきましては、設計金額が少額であり、設計も比較的分かりやすい特徴があります。その中で、最低制限価格の設定は1万円単位としており、増減調整があったとしても、1万円単位であれば振れ幅が少ないことから、くじ引きにより決定することが多くなる傾向が強いです。

イ 指名停止措置等の運用状況について  
(特になし)

(2) 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

(ア) 平成30年度下建維第3号

橋内第二排水区下水道管更生工事

Q 入札参加者が少なく、落札率も高い。形式的にも実質的にも競争性が確保されているのか疑問に思う案件です。予定価格とほぼ同額での入札ですが、入札参加資格を有している業者は、応札された2者だけですか。

A 応札された2者は市内本店業者ですが、本件につきましては、所在地要件を市内支店等まで範囲を広げて発注しております。参加資格を有する者は、実績要件等を踏まえすと、市内本店及び市内支店等で少なくとも4者程度と見込んでおり、結果2者が参加されました。

Q 落札率も98.39%とかなり高いですが。

A 下水道管更生工事は年間3件程度発注しており、平均4者程度が入札に参加されている中で、本件は特に応札者が少なかった事例でございます。

本件につきましては、本管径が300mmから600mmと幅広い管径の管更生工事であります。工事の品質や履行を確保するために、本件

工事の管径及び施工条件に対応できる工法の協会員であることを入札参加資格にしておりますが、工事の管径及び施工条件に対応できる工法は2工法に限られます。工事の履行を確保するためには、必要な参加資格であったと考えております。

また、応札された業者におきましては、応札者自身も入札参加者が少数でないかと想定して、応札された可能性もあったのではないかと思います。

Q 入札参加者が少なく落札率が高い結果について、市としてはやむを得ないと考えているものと理解してよろしいでしょうか。

A 本件につきましては、所在地要件を市内支店等まで範囲を広げて発注しておりますが、例えば東海3県内まで範囲を広げた場合に、どの程度対象業者が増えるのかなど、更なる競争性の確保を今後検討してまいりたいと考えております。

※ 本件については、おおむね適正に処理されているものと認める。

(1) 平成30年度住補第6号

津市市宮藤方団地4号館外壁及び手摺改修工事

Q 予定価格とほぼ同額の業者が受注されています。その他の業者は、最低制限価格未滿により失格となっており、最低制限価格制度上失格とすることはやむを得ないかも知れませんが、最低の入札者と比べると、入札額が300万円の差があり、少ない金額ではありません。失格となった業者は最低制限価格をわずかに下回る金額であり、適正な履行ができないとは思えませんがいかがでしょうか。

A 失格した6者全てが金額にして7.8万円、率にして約0.3%の範囲内に収まっていることから、最低制限価格の増減調整の読み合いの結果、失格者が多くなったものと分析しております。最低制限価格より約300万円高い金額で落札に至ったことにつきましては、最低制限価格制度は、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって申込みをした他の者のうち、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするという地方自治法の規定による制度であり、制度上やむを得ないところではありますが、今後とも低入札価格調査の手法等も含め検討を進めているところです。

Q 入札参加資格者は何者でしょうか。

A 本件につきましては、津・香良洲地区の格付区分Aの業者が9者、格付区分Bの業者が19者で、合計28者のうち7者が応札されております。

Q 最低制限価格は予定価格に対してどの程度の割合でしたか。

A 本件に係る最低制限価格につきましては、予定価格に対して90%を超えており、90%を超える場合は90%としておりますので、予定価格の90%と設定しております。

Q 失格となった業者は、最低制限価格を読み切れなかったということになるのでしょうか。予定価格の90%を超えない価格で見積もったということでしょうか。

A そうです。

※ 本件については、一部今後に検討を要するもののそれ以外はおおむね適正に処理されているものと認める。

(ウ) 平成30年度住第2-4号

津市市営高洲住宅22-5号ほか3戸屋根塗装替等修繕

Q 入札参加資格者は何者でしょうか。

A 本件につきましては、津・香良洲地区の格付区分A1の業者が22者、格付区分A2の業者が23者で、合計45者のうち2者が応札されております。

Q 業者にとって魅力がなかった案件ということでしょうか。

A 本件につきましては、屋根の塗装替等修繕であり、市営住宅の入居者との調整を要し、入居者の都合を確認のうえ不在時に施工する必要があり連続した施工ができず、塗装時には入居者に車を別の場所に移動していただく必要があるなどの施工上の制約もあり、入札参加者が少なかったのではないかと推測しております。

また、修繕全般で見ましても、修繕の発注件数と平均入札参加者数については、平成28年度の発注件数は6件で、平均入札参加数が4者、平成29年度は17件の発注で、平均入札参加数が3者、平成30年度はこれまで16件の発注で、平均入札参加数が4者であることから、修繕全般においても、魅力に乏しかったものとも推測されると思います。

それから地域的に見ましても、修繕に限らず工事につきましても、本件の工事場所である地域及びその近辺地区で発注しました案件につきましては、比較的応札者が少ない傾向が見受けられます。

Q 応札した1者は予定価格と同額で応札されていますが、予定価格は事前に公開していますか。

A 原則全ての工事等について事前公表としており、予定価格と同額での応札については、予定価格の範囲内の応札であれば有効でありますし、落札される可能性もございます。なお、予定価格につきましては、本年

度から、予定価格の事後公表を試行的にはありますが、実施しております。

○ 本件については、積極的に受注を目指しているのではなく、他に応札者がなければ受注してもよいという感じがします。

Q 本件については先ほど説明がありましたように修繕の内容などから、魅力に乏しく入札参加者が2者と少なかったという結果になったと思いますが、例えば、他の案件と一緒にして発注するなどして、金額の面からも受注意欲が湧き、入札参加者が多くなるような工夫が必要だと思えますがいかがですか。

A 本件につきましては、格付区分がA1、A2の合計45者が入札参加資格を有していることから、競争性は担保されているものと考えておりますが、入居者がおられる中での施工ということもあり、結果的には2者のみの応札であったことから、御指摘を参考にさせていただきたいと考えております。

Q 先ほど、修繕は一般に応札者が少ないという説明がありましたが、入居者との調整が必要であったり、稼働中の物件であったり、新設とは違い圧倒的に手間がかかる部分が多いと思いますが、そのような状況を設計金額に反映するような制度等はないのですか。

A 入居者への連絡や日程調整につきましては、全てを業者任せとするのではなく、市が実施すべきと判断した場合は、市が実施する場合もございます。また、設計書の作成については、公共的な単価を採用しており、個別の事情を設計金額に反映させる制度等はございません。

※ 本件については、おおむね適正に処理されているものと認める。

事後審査型条件付一般競争入札

NO.1

公告日	平成30年11月26日	工事担当課	下水道建設課	
工事名	平成30年度下建維第3号 橋内第二排水区下水道管更生工事			
工事場所	津市 相生町	地内		
工事概要	本管部分補修工 (本管径300mm~600mm) 14箇所 支管一体部分補修工 (本管径300mm~600mm 取付管径100mm~150mm) 27箇所 本管口Vカット補修工 (本管径300mm) 2箇所			
工期	契約締結の日から <b>平成31年2月28日</b> まで			
発注業種	<b>土木一式</b>			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店又は市内支店等		
	格付要件	なし		
	地域・格付要件	【フロック】	【地区】	【格付】
		【フロック】	【地区】	【格付】
		【フロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件	過去10年間(平成20年度以降)に施工が完了した官公庁等元請実績で以下のとおり下水道管更生工法又は下水道管部分補修工法((公財)日本下水道新技術機構による技術審査・証明を得ている工法に限る。専門技術者の項において同じ)による下水道管更生工事等		
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者(本市発注工事における専任配置)	
現場代理人		常駐配置(主任技術者と兼務可)		
専門技術者		下水道管部分補修工法の施工技術の認定証等を有する者(主任技術者・現場代理人と兼務可)		
その他要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道管部分補修工法((公財)日本下水道新技術機構による技術審査・証明を得ている工法のうち、当該工事の管径及び施工条件等に対応できる工法に限る。)の協会員であること</li> <li>経営事項審査において発注業種の年平均完成工事高を有すること(審査基準日:平成28年10月1日~平成29年9月30日)</li> </ul>			
設計図書の見覧	見覧期間	本公告の日から 平成30年12月14日 まで		
	見覧場所	調達契約課・津市ホームページ「入札・契約」		
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成30年12月14日 まで		
	販売店	創作工房ネオ 津市一志町井関96-1 TEL059-293-6100		
設計図書等に関する質問	提出期限	平成30年12月5日 午後5時 まで(指定の質問書を使用すること)		
	回答日	平成30年12月10日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) FAX 059-229-3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	<b>平成30年12月14日 必着</b>		
	郵送先	〒514-8799 日本郵便(株)津中央郵便局 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時及び場所	<b>平成30年12月18日 午前11時20分</b> 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	<b>10,164,000</b> 円 (税抜き)			
最低制限価格	有			
入札保証金	免除			
契約保証金	契約金額の100分の10以上			
前金払	有			
部分払	無			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。</li> <li>同種工事実績要件における官公庁等とは、国の機関(独立行政法人、公団、事業団その他政令で定める法人を含む。)、都道府県、市町村等及びコリズ登録された公益民間企業(交通(鉄道、空港)、資源エネルギー(電気、ガス、石油)、通信会社等)とする。</li> </ul> <p>※本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。</p> <p>・当工事の発注者(契約相手方)は、「津市上下水道事業管理者」です。</p>			

予 定 価 格 10,164,000 円  
落 札 価 格 10,000,000 円  
最低制限価格 8,840,000 円

※すべて税抜き

落 札 率 98.39 %

下記入札金額に1.08を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)山口産業	10,000,000	落札決定
2	東海管清興業(株)	10,160,000	
3			
4			
5			

## 事後審査型条件付一般競争入札

NO.2

公告日	平成30年9月18日	工事担当課	市営住宅課	
工事名	平成30年度住補第6号 津市市営藤方団地4号館外壁及び手摺改修工事			
工事場所	津市 藤方	地内		
工事概要	改修(外壁及び手摺) 鉄筋コンクリート造5階建 延面積1,747m <sup>2</sup> ※上記に係る建築工事等 一式			
工期	契約締結の日から	平成31年2月28日	まで	
発注業種	建築一式			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地域・格付要件	【ブロック】津・香良洲	【地区】津・香良洲	【格付】B・A
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件			
	技術者要件	主任(監理)技術者	2級建築施工管理技士(建築)又は同等以上の者(本市発注工事における専任配置)	
現場代理人		常駐配置(主任技術者と兼務可)		
その他要件				
設計図書 の閲覧	閲覧期間	本公告の日から	平成30年10月5日 まで	
	閲覧場所	調達契約課・津市ホームページ「入札・契約」		
設計図書 の購入	購入期間	本公告の日から	平成30年10月5日 まで	
	販売店	アサヒ感光社 津市半田141 TEL059-226-5214		
設計図書等 に関する質問	提出期限	平成30年9月26日 午後5時 まで(指定の質問書を使用すること)		
	回答日	平成30年10月1日	ホームページにて回答	
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) FAX 059-229-3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	平成30年10月5日 必着		
	郵送先	〒514-8799 日本郵便(株)津中央郵便局 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時 及び場所	平成30年10月10日 午前9時10分 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	29,131,000 円 (税抜き)			
最低制限価格	有			
入札保証金	免除			
契約保証金	契約金額の100分の10以上			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 ※本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。			

予 定 価 格 29,131,000 円  
落 札 価 格 29,100,000 円  
最低制限価格 26,210,000 円

※すべて税抜き

落 札 率 99.89 %

下記入札金額に1.08を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)プロジェクト品川	26,100,000	失格(最低制限価格未滿)
2	(株)山幸建設	26,120,000	失格(最低制限価格未滿)
3	(株)佐脇建設	26,130,000	失格(最低制限価格未滿)
4	(株)岸田建設	26,140,000	失格(最低制限価格未滿)
5	(有)倉田組	26,140,000	失格(最低制限価格未滿)
6	ホンダ建設(有)	26,178,000	失格(最低制限価格未滿)
7	(株)藤川工務店	29,100,000	落札決定
8			
9			
10			

## 事後審査型条件付一般競争入札

NO.3

公告日	平成30年11月12日	工事担当課	市営住宅課	
工事名	平成30年度住第2-4号 津市市営高洲住宅2-5号ほか3戸屋根塗装替等修繕			
工事場所	津市 高洲町	地内		
工事概要	改修(屋根塗装改修) 塗装改修 ※上記に係る塗裝修繕等 一式			
工期	契約締結の日から <b>平成31年2月15日</b> まで			
発注業種	<b>塗装</b>			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地域・格付要件	【ブロック】津・香良洲	【地区】津・香良洲	【格付】A1・A2
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件			
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者(本市発注工事における専任配置)	
現場代理人		常駐配置(主任技術者と兼務可)		
その他要件				
設計図書 の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成30年11月22日 まで		
	閲覧場所	調達契約課・津市ホームページ「入札・契約」		
設計図書 の購入	購入期間	本公告の日から 平成30年11月22日 まで		
	販売店	創作工房ネオ 津市一志町井関96-1 TEL059-293-6100		
設計図書等 に関する質問	提出期限	平成30年11月15日 午後5時 まで(指定の質問書を使用すること)		
	回答日	平成30年11月20日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) FAX 059-229-3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	<b>平成30年11月23日 必着</b>		
	郵送先	〒514-8799 日本郵便(株)津中央郵便局 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時 及び場所	<b>平成30年11月28日 午後2時50分</b> 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	<b>3,770,000</b> 円 (税抜き)			
最低制限価格	無			
入札保証金	免除			
契約保証金	免除			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 ※本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。			

予 定 価 格 3,770,000 円

落 札 価 格 3,750,000 円

※すべて税抜き

落 札 率 99.47 %

下記入札金額に1.08を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	山口工業	3,750,000	落札決定
2	(有)ダイシン	3,770,000	
3			
4			
5			